

第6学年 総合的な学習の時間 学習指導案

福岡市立柏原小学校

指導教諭 田中祐子

1 単元名 「柏原の昔と今 ～校区のため池から歴史をひもときょう～」

2 単元の目標

- 校区のため池の現在及び過去の用途や歴史などについて知り、5年生に伝わるようにスライドにまとめることができる。 (知識・技能)
- 福岡市のホームページ「ため池マップ」や古墳、地名などから課題を見だし、ため池の役割や歴史について調べたことをもとに考察したり、調べたことをスライドにまとめたりすることができる。 (思考・判断・表現)
- 校区にあるため池から過去の柏原の歴史を知るという目的意識をもち、意欲的に調べたり、調べたことやわかったことをスライドにまとめたりすることができる。 (主体的に学習に取り組む態度)

3 単元について

(1) 教材観

本単元では、「ため池の調査」、「地域の方や研究者からの学び」「地域の歴史についてのスライドづくり」を教材として取り上げる。

まず、柏原校区にあるため池について取り上げ、ため池には様々な役割があることや古墳との関係について知ることで、活動への関心をもたせることができる。また、福岡市の「ため池マップ」のホームページで地域のため池の場所や用途、歴史などを調べることを通して、校区全体のため池の分布や地名との関係などを捉え、現地での調査への見通しをもったり活動への意欲を高めたりすることができる。

さらに、地域の方や研究者から話を聞くことで、ため池自体の役割だけでなく、それに付随する古墳や石臼などの現存する資料について知ったり、そこからわかることについて学んだりすることができる。話の聞き方や質問の内容やタイミングなどについて意識することで、教えてくださる人への対応の仕方やコミュニケーションスキルの向上を図ることができる。古文書や研究者の存在を知り、様々な資料からの調査の方法や研究する目的などについても学ぶことができる。

最後に、グループごとに調べたことや気づいたこと、スライドにまとめ、5年生に伝えることを通して、これから歴史を学ぶ5年生が興味をもてるような表現の工夫をしたり校区を誇りに思う気持ちを高めたりすることができる。

(2) 児童観

本学級の児童は、コロナ禍でグループでの調べ学習や他学年との学習に制限があったり、2年生での校区探検以外で地域に出かける学習がなかったりするなど、地域について学ぶ機会が非常に少ない。しかしながら、身近な問題に対する興味は高く、興味をもったことについて調べたりまとめたりする活動には意欲的に取り組むことができる。また、他教科では協力して学ぶことの経験を積んでおり、事実を元に多角的に意見を出し、話し合いながらグループでの考えを作ることもできるようになってきている。このような子どもたちに、本課題を取り上げる意義は大きい。

(3) 指導観

本単元の指導に当たっては、まず校区内にある原田上池の写真を提示し、身近なため池の存在に気付く、その存在意義について考えさせることを通して、題材への関心をもたせたい。原田上池以外で子どもたちが知っているため池を出させていく中で、源蔵池が「太平寺特別緑地保全地域」の中にあることやすぐ横に古墳があることに気付かせ、疑問を持たせることで「どこに、何のためにため池があるのか」という課題をつかませたい。

次に、校区内のため池を4パートに分け、グループごとに調べる活動を通して、ため池には様々な用途や歴史があることに気付かせ、さらなる調査への意欲を高めていきたい。ここから、現地へ赴き、看板などからの情報や周辺の様子について調べる活動へつなげる。現地での調査を通して分かったことをまとめる中で、現地調査では明らかにならなかったことや新たな疑問などから、「校区は昔どんどこだったのだろう」という課題をとらえさせ、さらに詳しく調べるために、地域の人や校区の研究をしている人から話を聞く活動へつないでいく。

古墳の調査をしている人から、500年代から700年にかけて、大規模な鉄生産が行われていたことや600年から623年にかけて、何度も韓国に出兵したことから武器や鎧を作っていたことがわかることなどの話を聞く。また、「御免用諸普請軸帳」という古文書を持っている地域の方から、校区の公園から製鉄所の跡が見つかったことや地域に住む方の庭に火薬づくりに使われた石臼が現在でもあることなどを聞く。双方の話から、社会で学習している内容と自分たちが住む校区とのつながりを意識させていきたい。また、地名との関係にも着目させ、地域の歴史を知り、校区に対する気持ちを高めていきたい。

そして、学んだことをスライドにまとめ、5年生に伝える活動を行う。まだ歴史を学んでいない5年生が理解でき、興味をもてるように表現を工夫するなど、相手意識を持って、学んだことの魅力を伝えられるように意識させたい。

さらには、これらの活動を通して、現在まで大切にされてきた歴史や校区に対して、自分たちにできることがないか話し合わせることを通して、次からの学習や自分の生き方につなげていくようにする。

(4) ESD との関連

・本学習で働かせる ESD の視点 (見方・考え方)

有限性：地域に残る歴史的なものも、何もしなければ気付かれず忘れ去られ、朽ち滅びていくが、適切に保全し語り継ぐことで引き継がれていくということ。

責任性：歴史的なものを未来へ有効になるように残していくためには、自ら積極的に行動していくことが重要であるということ。

・本学習を通して育てたい ESD の資質・能力

多面的・総合的に考える力

ため池一つ一つの現在の用途や歴史的な情報を、文献や地域の方や研究者から得た情報などとつなげて、大まかな校区の歴史を知り、まとめることができる。

コミュニケーションを行う力

地域の方々や研究を行なっている方々に、適切に質問をしたり反応したりして必要な情報を得たり、人とのつながりを大切にしたりすることができる。

他者と協力する態度

同じグループの友だちと役割分担しながら調べたり、自分たちのグループが調べたことと他のグループが調べたことを伝え合ったりして、力を合わせて問題を解決することができる。

・本学習で変容を促す ESD の価値観

世代間の公正

大切にされてきたものごとは、そこから学び、次の世代へ引き継いでいく責任が今の時代を生きる私たちにはある。

・達成が期待される SDGs

11 住み続けられるまちづくりを

4 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 現在のため池の用途やため池周辺のものや文献から解明された柏原の歴史などについて、理解している。	① 資料をもとに課題を見だし、資料や地域の方などからの話をもとに、校区の歴史について考えている。	① 校区のため池の役割について知りたいという課題意識をもち、意欲的に調べたり学んだりしている。
② 学んだり調べたりして得た知識を、言葉や図、写真などを用いて、まとめる技能を身につけている。	② 現在のため池の役割や校区の歴史について、学んだことなどをスライドに表現している。	② ため池を調べることから派生した疑問について、人から話を聞いて調べようとしている。
		③ 校区の歴史について学んだことを、5年生に伝えるように発信しようとしている。

5 単元の指導計画（全 16 時間）

学習活動	学習への支援（・）	評価 （△） 備考 （・）
<p>1 原田上池の写真をもとに、校区のため池のことに興味をもち、今後の見通しをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路にもため池があるよ。 ・学区の近くには、ほとんど水のないため池もあるね。 ・源蔵池は「太平寺特別緑地保全地域」の中にあるよ。その中には古墳もあるよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの学習に関心をもち、課題を捉えさせるために、身近なため池の写真を提示し、ため池が多く存在することやその役割について問う。 	<p>ウ① (主体的)</p>
<p>2 福岡市の「ため池マップ」のホームページで調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の用途以外にも、昔のこともわかったよ。 <p>3 グループごとに、各ため池群について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの鉄滓や 600 年代の須恵器が見つまっているよ。 ・羽黒池の代わりに作られたため池だよ。羽黒神社と名前が似ているね。 ・現在は親水公園になっているけど、昔はこの池の水をめぐって、争いが絶えなかったそうだよ。 ・昔、このため池の端に山寺があったんだって。 <p>4 地域の方や研究者の方から話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古墳が作られた時代に、朝廷に関係する人が住んでいたんだ。 ・随分昔から、鉄生産などで役に立っていたところなんだな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ため池の概要を知り、歴史へ興味をもたせるために、ホームページを紹介する。 ・各ため池群の歴史を知り、より意欲的に調べられるように、現地へ出向いたり、文献などで調べる時間を設けたりする。 ・より詳しく知るために、人から話を聞く時間をとる。 	<p>ア① (知・技) イ① (思判表) ウ① (主体的)</p> <p>ウ② (主体的)</p>
<p>5 スライドにまとめ、5年生に伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史を習っていない5年生にもわかる言葉を使おう。 ・質問を受けられるように、発表の形態を考えよう。 <p>6 活動の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習で知った歴史的なものごとを、これからも大切にしていきたいな。 ・もっと柏原校区のことを知るには、どうしたらいいのかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生に調べた内容や伝えたい思いが伝わるように、写真など資料を用意しておく。 ・今後の学習や自己の生き方についてつながられるように、次の単元のめあてに着目できるようにする。 	<p>ア② (知・技) イ② (思判表) ウ② (主体的)</p>

・歴史を伝えるためにできることを考えよう。		
-----------------------	--	--